

【 診療科:婦人科 】
【 レジメン登録番号:GY-25 】

〈 AP療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)													
			1	2	3	4	5	6	7	8		15		21		
ドキソルビシン	60mg/㎡	div	○													
シスプラチン	50mg/㎡	div	○													

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 6 コース】

【適応癌種: 子宮体癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準
白血球数	3000以下	80%量	3000以上
血小板数	10万以下	中止	10万以上

投与プロトコール

〈day1〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
前日より	ソルラクト 500mL	div (120mL/h)
Rp.1	ソルデム3A 1000mL	div (250mL/h) ^{※1}
Rp.2	5-HT ₃ R Blocker 1A	div (全開)
	H ₂ Blocker 1A	
	デキサート 16.5mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	ドキソルビシン 60mg/m ²	側管div (10分で)
	5%ブドウ糖液 50mL	
Rp.4	シスプラチン 50mg/m ²	div (2時間で)
	生理食塩水 500mL ^{※2}	
Rp.5	マンニトールS 300mL	側管div (300mL/h)
Rp.6	ソルデム3A 1000mL	div (250mL/h)
Rp.7	ソルデム3A 1000mL	div (120mL/h) ^{※3}

〈day2～4〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソルデム3A 1000mL	div (day2 120mL/h) (day3 80mL/h) (day4 40mL/h)
Rp.2	デキサート 3.3mg	div (全開 1日2回朝・夕)
	テルペラン 1A	
	生理食塩水 100mL	

【参考文献: 子宮体癌治療ガイドライン2009、及び伊勢原APレジメン(JGOG2043、子宮体癌・再発高危険群に対する術後補助化学療法としてのAP療法、DP療法、TC療法のランダム化第Ⅲ相試験)】

【備考: ※1・・・シスプラチン投与持、止め。】
【備考: ※2・・・第1日目のRp.4の生理食塩水の量はシスプラチンと合わせて500mLとなるようにする。】
【備考: ※3・・・0時で残破棄して、更新。】
【備考: 2時間尿量100mL以下の場合、ラシックス(20mg) 0.5A/生食50mL。】
【変法情報:】